

## えるぼし認定企業懇談会

令和2年2月21日

### ▶認定を目指したきっかけ

青森労働局長 (株)なの花東北さんは、県内7企業目のえるぼし認定企業となりましたが、えるぼし認定を目指したきっかけ等ありましたら、教えていただければと思います。



(株)なの花東北 わが社は、保険調剤薬局をしており、イメージ的にも女性が多い職場です。実際、女性が多い中で、「女性が活躍できる職場だ」ということを、えるぼし認定を受けることでPRし、今後は、くるみんやプラチナくるみん、プラチナえるぼし等の認定を受けられるよう、女性の活躍推進だけではなく、仕事と子育ての両立支援にも取り組んでいきたいと思っています。

### ▶適正な業務分担

青森労働局長 社員の90%近くが女性ということですが、薬剤師についても女性が多いのでしょうか。



(株)なの花東北 薬剤師は男女半々です。事務は女性が多いです。他の薬局さんは、薬剤師が管理者というところがほとんどだと思うのですが、わが社は、事務方を管理職として店長に配置しています。薬剤師でなくてもできる店舗の運営や、売り上げ管理、本社との連絡調整等を事務方が店長として行い、薬剤師は、管理薬剤師として店舗の薬剤師のまとめ役、責任者として

働いています。店舗の業務の全てを薬剤師がこなすとなると仕事が増えてしまいます。みんなで仕事を分担して、残業を少なくしていきたいという思いもあります。

### ▶非正規社員から正社員への転換

青森労働局長 平成30年度については、残業が月平均14時間未満ということですね。

多様なキャリアコースとして、女性の非正規社員から正社員へ転換された方が平成 28 年度～平成 30 年度に4名いらっしゃるといことですが、キャリアアップはどのような形で行っているのでしょうか。

**(株) なの花東北** キャリアアップについて非正規社員さんと面談を実施して、その中で希望があれば、正社員に転換していきます。収入の面もありますし、時間をうまく活用したいという面もあるようです。会社としても、短時間で働いてもらうより、フルタイムで仕事をしてもらいたいと思っています。

**青森労働局長** 私どもも、非正規社員を正社員に転換していただきたい、と様々な機会に呼びかけているところです。ぜひ、今後も積極的に正社員への転換を行っていただきたいと思います。

30 歳以上の方を正社員として採用しておられますが、どのようなケースが多いでしょうか。

**(株) なの花東北** 旦那さんの転勤で引っ越してきたというケースや、旦那さんの転勤で一度離職したけれども、また戻ってきたというケースがあります。なの花薬局グループは全国に約 420 店舗ありますので、転勤先にグループの店舗があれば、そちらの店舗に勤務するということができます。社員の要望をできるだけかなえていきたいと思っています。

### ▶店舗の雰囲気をもろくできる人を管理職に

**青森労働局長** 管理職に占める女性の割合が 50%ということですが、管理職に登用するに当たって、何を重視されておりますか。

**(株) なの花東北** 普段の業務をこなせるか、調剤報酬の請求ができるか、ということに加え、ホスピタリティがあるか、店舗の雰囲気を明るくできるかということも重視しています。職場は1日の3分の1の時間を過ごす場所です。また店舗は広くはありません。人間関係がギスギスしないように、という感覚を持って、調整してくれる方に管理職になってもらい、店舗の雰囲気を明るくしてもらっています。



## ▶働きやすい職場に向けて

青森労働局長 働きやすい職場づくりに向けて何か取り組んでいることはありますか。

(株)なの花東北 「クレド」を取り入れて、創業当時の企業理念はそのままに、それをどう作っていくかを考え、取り組んでいます。「クレド」とは、「我が信条」等と訳され、日本クレド株式会社が発信しているマネジメントツールです。わが社では、創業当時から大切にしてきた「3つの笑顔」(わたしたちの笑顔、お客様の笑顔、みんなの笑顔)とホスピタリティを踏襲した新たな企業理念を浸透させるために取り入れました。現在、「3つの笑顔委員会」を設置し、職員自らが自社の社会的存在意義や会社のこれからのための議論をし、社内環境を整備する活動をとおり、あらゆる角度から働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

雇用環境・均等室長 御社の募集要項を拝見しましたところ、「医療貢献特別休暇」や「スポーツ文化活動特別休暇」等企業独自の休暇制度や、また福利厚生でも「選択型福利厚生サービス」等非常にオリジナリティある制度を設けられており、私どもとしても、こうした好事例を他の企業に普及させていきたいと思ひます。

## ▶トップのリーダーシップ

青森労働局長 えるぼし認定企業として、他の企業さんに向けて一言いただきたいと思ひます。



(株)なの花東北 創業者によく言われたのは、「鯛は頭から腐る。いい会社、悪い会社はない。いい社長、悪い社長がいるだけだ。」ということです。いろいろな企業さんがあると思ひますが、どういう会社を作りたいか、ということに尽きると思ひます。えるぼしやくるみん等様々な認定があるなら、それに向けて取り組んでいく、というのは一つの目指すものでしょうし、認定を受けることで、きちんとお墨付きをいただいたということで、社員の安心にもつながるのかな、と思ひます。社員が働きやすい職場に向けて、トップの方が色々考えて取り組むのが一番だと思ひます。

青森労働局長 働き方改革の取組の中で、最後はやはりトップの方のリーダーシップに尽きると思ひます。トップがやる気を出して、社員の方々がより働きやすい職場にしてい

く、というのは非常に重要だと思います。

**(株) なの花東北** 社員の意見を吸い上げて、最終的に決定するのはトップです。もちろん利益も大事ですが、その利益を稼いでいるのは社員だ、ということを忘れないでやっていくことが大事だと思います。それを忘れずに、えるぼしやくるみん等、様々な目標に向けて頑張っていくことが重要ではないかと思います。

**青森労働局長** 今後も働きやすい職場づくりに取り組んでいただき、ぜひ、プラチナえるぼし認定、くるみん認定、プラチナくるみん認定を期待しています。本日はありがとうございました。